

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投資／海外／株式
信託期間	無期限（2009年11月30日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラス J」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みませぬ。）を主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年5月12日および11月12日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・ インドネシア株式オープン

第29期（決算日 2024年5月13日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配)	基準価額			騰落率	投資信託 組入比率	純資産 総額
		税金	込	み			
	円	分	配	金	期	中	率
					騰	率	%
25期(2022年5月12日)	10,189			0		18.1	92.8
26期(2022年11月14日)	10,625			300		7.2	94.7
27期(2023年5月12日)	10,444			0	△	1.7	97.7
28期(2023年11月13日)	10,586			0		1.4	98.0
29期(2024年5月13日)	10,402			0	△	1.7	96.9

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

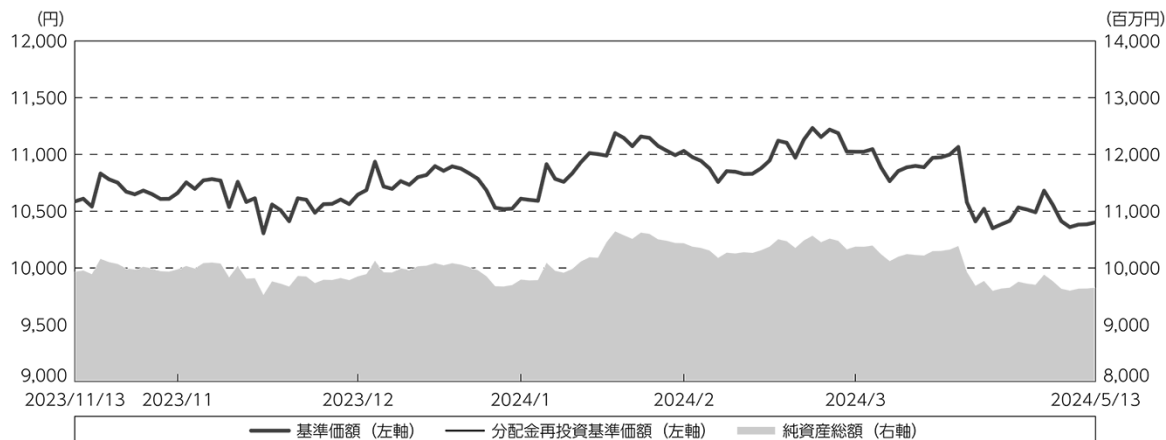
(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額等の推移

年	月	日	基準	価額		騰落率	投資信託 組入比率	託券率
				騰	落			
			円			%		
(期首)								
	2023年	11月	13日	10,586		—		98.0
		11月末		10,661		0.7		97.6
		12月末		10,646		0.6		98.0
	2024年	1月末		10,610		0.2		97.2
		2月末		11,031		4.2		97.5
		3月末		11,024		4.1		96.8
		4月末		10,491		△0.9		98.0
(期末)								
	2024年	5月	13日	10,402		△1.7		96.9

(注) 騰落率は期首比です。

基準価額等の推移について



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年11月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

(下落要因)

- ・保有株式が下落したこと。

投資環境について

インドネシア株式市場

当期のインドネシア株式市場は下落しました。期初から2023年年末にかけては、米国の利下げ観測の高まりを受け、米長期金利が低下したことなどから、インドネシアルピアが堅調に推移する中、インドネシア株式市場は上昇しました。その後は米国のインフレ指標や雇用統計が強かったことなどから米国の利下げ観測が後退し、米長期金利が再び上昇する中、2024年2月半ばから3月半ばにかけて大統領選挙後の材料出尽くしなどからインドネシア株式市場は上値の重い局面が続きました。4月以降は、更に米長期金利が上昇し、インドネシアルピアが下落したことから、4月24日にインドネシア中央銀行が予想外に政策金利を0.25%引き上げ、インドネシア株式市場は期末にかけて下落基調をたどりました。

為替市場

当期のインドネシアルピアは対円で小幅上昇しました。米長期金利が低下基調をたどる中、期初から2023年年末にかけて、インドネシアルピアは対米ドルで底堅く推移しました。2024年年明け以降は、米国の経済指標が予想以上に強かったことから米長期金利が上昇傾向に転じ、インドネシアルピアは対米ドルで軟調な展開となりました。3月～4月にかけて一段と米長期金利が上昇し、インドネシアルピアが下落基調をたどる中、4月24日にインドネシア中央銀行は通貨防衛のために政策金利を0.25%引き上げました。そのため期末にかけて、インドネシアルピアは対米ドルで反発しました。円は、期中に日銀がマイナス金利の解除、イールドカーブ・コントロール (YCC) の撤廃を実施したものの、米国の政策金利に変化がなかったことから引き続き日米金利差は大きいとの見方が支配的となり、円が主要通貨に対し、下落基調をたどったため、インドネシアルピアは対円で小幅上昇で終わりました。

国内債券市場

国内債券市場は、期初から2023年年末にかけては、米長期金利が低下するなか、日本国債利回りも連れて低下しました。2024年年明け後は、発表された米国の経済指標が好調であったことなどから米長期金利が上昇し、それにより日本国債利回りも上昇しました。さらに3月19日に日銀がマイナス金利政策の解除およびYCCの撤廃などを行ったことから日本国債利回りは期末にかけて0.9%を超えて上昇しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ「インドネシア・エクイティ・ファンドクラス」(以下「インドネシア・エクイティ」ということがあります。の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インドネシア・エクイティ

主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を実質的な主要な投資対象として、企業の本質的な価値を重視したバリュー投資を基本とし、ボトムアップ・アプローチに基づく銘柄選択により、中長期的な超過収益の獲得を目指した運用を行いました。

当期は好調な貸出の伸びやクレジット費用の低下などから株主資本利益率(ROE)が上昇したことなどを好感され株価が上昇したBank Mandiriなどの保有がプラスに寄与した一方、ARPU(加入者当たりの平均通信収入)が前期比で減少したことなどを嫌気され株価が下落したTelkom Indonesiaなどの保有がマイナスに影響しました。

イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第29期
	2023年11月14日～ 2024年5月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,826

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるインドネシア・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

インドネシア・エクイティ

世界的に景気後退懸念が強まる中、インドネシアの長期的な見通しについては、人口動態の有利性や健全なマクロファンダメンタルズなどを考慮し、引き続き前向きに捉えています。2024年のインドネシアの国内総生産(GDP)は、堅調な消費と輸出の伸びにけん引され前年比5%程度の成長を記録すると予想しています。足元の主要輸出品目は石炭やパーム油ですが、長期的には政府の川下産業強化の政策に沿ってニッケル加工品も加わることが予想されます。インドネシアの経常収支は構造的な黒字化に向かっているとみており、通貨と債券利回りにとっては追い風になると考えています。株式市場の予想株価収益率は過去10年の平均値に比べて現在20%程度割安であり、新政権による財政支出拡大による株式市場の再評価が期待されます。一方、投資家のリスク回避姿勢の変化による通貨の乱高下などには注意が必要です。今後の状況を注視しつつ、市場の調整局面はファンダメンタルズが堅固な企業の株式を割安な水準で組み入れる好機と考えています。

イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるICE BofA 国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年11月14日～2024年5月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	78	0.727	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(32)	(0.301)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(44)	(0.410)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.011	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	(1)	(0.006)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	金銭信託に係る手数料等
合 計	79	0.738	
期中の平均基準価額は、10,743円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

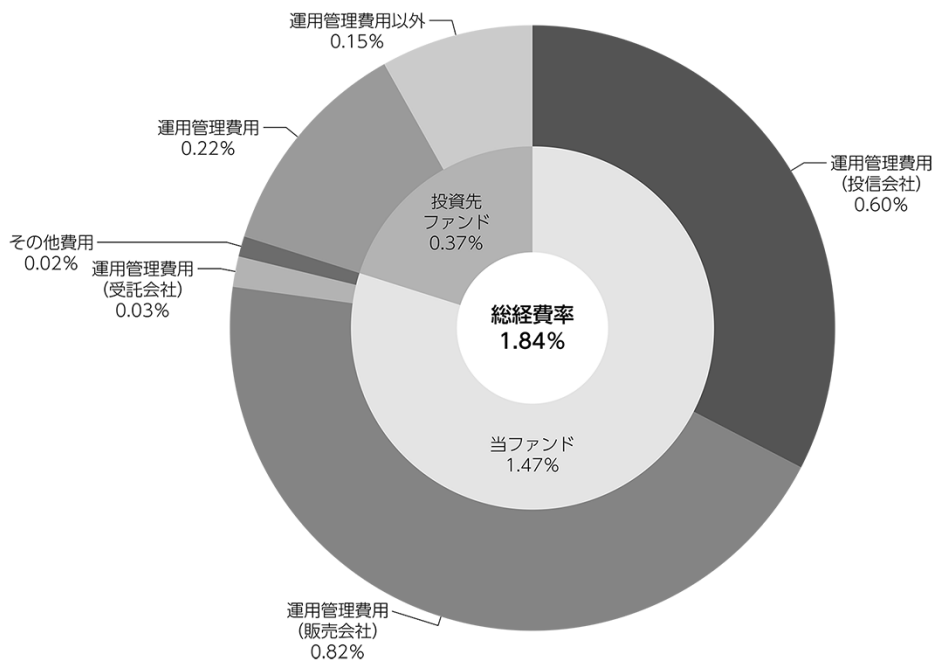
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.84
①当ファンドの費用の比率	1.47
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.22
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年11月14日～2024年5月13日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	米ドル建 ルクセンブルグ籍	千口	千米ドル	千口	千米ドル
	イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	183	3,500	285	5,300

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2023年11月14日～2024年5月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年5月13日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期末		比率
		口数	口数	評価額	
	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	千口	千口	千円	%
		15,851	15,851	16,649	0.2
合	計	15,851	15,851	16,649	0.2

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期末			比率
			口数	口数	評価額	
					外貨建金額	
	イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	千口	千口	千米ドル	千円	%
		3,559	3,456	59,874	9,339,290	96.8
合	計	3,559	3,456	59,874	9,339,290	96.8

(注) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2024年5月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	16,649	0.2
投資証券	9,339,290	95.9
コール・ローン等、その他	381,929	3.9
投資信託財産総額	9,737,868	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 外貨建純資産(9,339,290千円)の投資信託財産総額(9,737,868千円)に対する比率は95.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2024年5月13日における邦貨換算レートは、1米ドル=155.98円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年5月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	9,737,868,202
コール・ローン等	381,927,494
投資信託受益証券(評価額)	16,649,956
投資証券(評価額)	9,339,290,648
未収利息	104
(B) 負債	85,114,701
未払解約金	10,820,689
未払信託報酬	73,189,920
その他未払費用	1,104,092
(C) 純資産総額(A-B)	9,652,753,501
元本	9,279,953,582
次期繰越損益金	372,799,919
(D) 受益権総口数	9,279,953,582口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,402円

(注) 元本の状況

期首元本額 9,381,932,792円

期中追加設定元本額 1,422,130,193円

期中一部解約元本額 1,524,109,403円

(注) 1口当たり純資産額は1.0402円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況 (2023年11月14日～2024年5月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 89,692
受取利息	4,612
支払利息	△ 94,304
(B) 有価証券売買損益	△ 130,915,342
売買益	294,298,349
売買損	△ 425,213,691
(C) 信託報酬等	△ 74,298,374
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 205,303,408
(E) 前期繰越損益金	508,479,644
(F) 追加信託差損益金	69,623,683
(配当等相当額)	(1,164,311,739)
(売買損益相当額)	(△1,094,688,056)
(G) 計(D+E+F)	372,799,919
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	372,799,919
追加信託差損益金	69,623,683
(配当等相当額)	(1,164,311,739)
(売買損益相当額)	(△1,094,688,056)
分配準備積立金	530,236,066
繰越損益金	△ 227,059,830

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,164,311,739円)および分配準備積立金(530,236,066円)より分配対象収益は1,694,547,805円(10,000口当たり1,826円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

当期の分配金は、基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

○お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	
形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	主として、インドネシアの企業の株式または株式関連証券に投資を行い、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	以下の企業の株式または株式関連証券を主要投資対象とします。 ・インドネシアで設立または上場している企業 ・インドネシアにおいて主に事業展開を行っている企業 なお、ADR、GDR等の預託証券、転換社債、優先株、ワラント債にも投資することができます。	
ベンチマーク	MSCI Indonesia 10/40 Index (MSCIインドネシア 10/40指数) ※ ¹	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	管理会社	イーストスプリング・インベストメンツ (ルクセンブルグ) S. A.
申込手数料	ありません。	
運用報酬	年率0.225%	
管理費用等	年率0.15%程度	
その他の費用・手数料	組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料等がかかります。	
設立日	2007年7月2日	
決算日	毎年12月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス (1-10年債) ※ ²	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.22% (税抜0.2%)	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)	

※1 MSCI指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※2 ICEの指数データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社 (以下「ICE Data」) 及び/またはその第三者サプライヤーの財産です。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメント - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ」を含む「イーストスプリング・インベストメント - インドネシア・エクイティ・ファンド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2023年12月31日を基準日とするAnnual Report（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

損益計算書及び純資産変動計算書

	2023年12月31日に終了した事業年度	米ドル
期首純資産		93,991,470
収益		
配当金		2,613,165
預金利息		42,966
収益合計		2,656,131
費用		
運用報酬		595,349
運営費用及びサービス費用		144,598
その他費用		460
費用合計		740,407
純投資収益（損）		1,915,724
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損）		(3,745,228)
外国為替に係る実現純利益（損）		5,791
実現純利益（損）		(3,739,437)
投資有価証券に係る未実現評価益（損）の変動額		5,127,370
外国為替に係る未実現評価益（損）の変動額		30,130
未実現評価益（損）の純変動額		5,157,500
運用による純資産の純増加額（減少額）		3,333,787
資本金の変動		
投資証券の発行		24,071,088
投資証券の解約		(16,066,622)
当期の純資産の変動額		11,338,253
期末純資産		105,329,723

投資有価証券明細表 (2023年12月31日現在)

(米ドル表示)

銘柄	数量	通貨	評価金額	対純資産 比率(%)
公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制 ある市場で取引されている譲渡可能な有価証券				
株式				
Indonesia				
Amman Mineral Internasional PT	2,685,200	IDR	1,142,304	1.08
Aneka Tambang Tbk	22,265,800	IDR	2,467,494	2.34
Astra International Tbk PT	9,882,500	IDR	3,630,189	3.45
Bank Central Asia Tbk PT	13,530,300	IDR	8,262,646	7.84
Bank Mandiri Persero Tbk PT	26,153,720	IDR	10,286,570	9.77
Bank Negara Indonesia Persero Tbk PT	15,055,572	IDR	5,262,698	5.00
Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	28,424,417	IDR	10,569,551	10.04
Barito Pacific Tbk PT	42,247,603	IDR	3,659,351	3.47
Charoen Pokphand Indonesia Tbk PT	11,888,500	IDR	3,883,524	3.69
Cisarua Mountain Dairy PT TBK	3,313,300	IDR	864,311	0.82
Dayamitra Telekomunikasi PT	21,287,842	IDR	975,579	0.93
GoTo Gojek Tokopedia Tbk PT	635,292,500	IDR	3,554,015	3.37
Indah Kiat Pulp & Paper Tbk PT	5,745,600	IDR	3,110,041	2.95
Indofood CBP Sukses Makmur Tbk PT	5,390,000	IDR	3,703,570	3.52
Indofood Sukses Makmur Tbk PT	5,853,200	IDR	2,453,931	2.33
Indosat Tbk PT	2,635,300	IDR	1,605,318	1.52
Kalbe Farma Tbk PT	38,937,400	IDR	4,070,528	3.86
Mayora Indah Tbk PT	10,254,100	IDR	1,659,374	1.58
Merdeka Copper Gold Tbk PT	24,477,050	IDR	4,297,135	4.08
Sarana Menara Nusantara Tbk PT	42,404,800	IDR	2,728,569	2.59
Semen Indonesia Persero Tbk PT	9,694,285	IDR	4,035,900	3.83
Sumber Alfaria Trijaya Tbk PT	25,313,600	IDR	4,821,801	4.58
Telkom Indonesia Persero Tbk PT	39,378,900	IDR	10,108,542	9.60
Unilever Indonesia Tbk PT	16,729,000	IDR	3,835,978	3.64
			<u>100,988,919</u>	<u>95.88</u>
株式合計			<u>100,988,919</u>	<u>95.88</u>
その他の譲渡可能な有価証券				
株式				
Indonesia				
Berlian Laju Tanker Tbk PT	35,965,332	IDR	75,744	0.07
			<u>75,744</u>	<u>0.07</u>
株式合計			<u>75,744</u>	<u>0.07</u>
その他の譲渡可能な有価証券合計			<u>75,744</u>	<u>0.07</u>
投資総額			<u>101,064,663</u>	<u>95.95</u>
その他資産			<u>4,265,060</u>	<u>4.05</u>
純資産			<u>105,329,723</u>	<u>100.00</u>

「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年2月28日～2024年2月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	23	0.219	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(15)	(0.143)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(2)	(0.022)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(6)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.014)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	金銭信託に係る手数料等
合 計	25	0.233	
期中の平均基準価額は、10,610円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○組入資産の明細

(2024年2月26日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当		期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	654,500	669,730	92.9	—	43.8	34.6	14.5
合 計	654,500	669,730	92.9	—	43.8	34.6	14.5

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) —印は組入れなしです。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当		期		末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第351回利付国債 (10年)	0.1	50,000	49,616	2028/6/20	
第354回利付国債 (10年)	0.1	59,000	58,281	2029/3/20	
第359回利付国債 (10年)	0.1	175,000	172,032	2030/6/20	
第67回利付国債 (20年)	1.9	45,000	45,055	2024/3/20	
第75回利付国債 (20年)	2.1	20,000	20,438	2025/3/20	
第80回利付国債 (20年)	2.1	38,000	39,011	2025/6/20	
第87回利付国債 (20年)	2.2	55,000	57,318	2026/3/20	
第91回利付国債 (20年)	2.3	135,000	142,406	2026/9/20	
第117回利付国債 (20年)	2.1	77,500	85,570	2030/3/20	
合 計		654,500	669,730		

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。